

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社
 コード番号 5660 URL http://www.shinko-wire.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

(氏名) 水口 征之
 (氏名) 平井 久嗣
 配当支払開始予定日

TEL 06-6411-1051

平成20年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	12,732	—	711	—	678	—	415	—
20年3月期第2四半期	11,408	15.3	839	63.1	871	166.9	473	165.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	7.87	—
20年3月期第2四半期	8.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	42,735	—	17,461	—	34.0	—	334.64	—
20年3月期	34,159	—	14,519	—	42.5	—	272.02	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 14,522百万円 20年3月期 14,519百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
21年3月期	—	2.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,730	28.8	2,230	△8.5	2,130	△1.8	1,080	△16.5	20.47

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 株式会社テザックワイヤローブ) 除外 1社(社名)
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 58,698,864株 20年3月期 58,698,864株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 6,520,019株 20年3月期 5,324,278株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 52,755,209株 20年3月期第2四半期 55,694,869株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	23,290	15.1	1,890	11.3	1,620	8.1	960	25.8	18	19

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油・原材料価格の高騰、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安、景気後退懸念により、先行き不透明な状況で推移しました。

一方、当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要が引き続き低調で、また民間需要も景気減速の影響が避けられない状況で、加えてコスト面では諸資材の価格高騰の影響もあり厳しい状況で推移しました。

このような状況に対しまして、当社グループは、需要構造の変化に対応した事業構造、製品構成の転換を着実に進めてまいりました。また諸資材の高騰に対しましては販売価格の是正に努めるとともに収益改善プロジェクトの推進によって徹底したコスト削減を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は12,732百万円と前年同期に比べ11.6%の増収となり、営業利益、経常利益は、それぞれ711百万円、678百万円、四半期純利益は415百万円となりました。

つぎに事業の種類別セグメント毎に業績の概況をご報告いたします。

線材製品関連事業

(PC関連製品)公共事業投資関連では、政府・地方自治体の公共事業予算は減少が続いており、また民間投資関連では、前年度の改正建築基準法による影響が緩和してきたものの、マンションの販売不振により市場は減速しました。しかしながら、新技術・高付加価値製品の提案型営業に注力した結果、PC関連製品の数量、金額とも堅調に推移しました。

(ばね・特殊線関連製品)主要な需要分野である自動車産業向けの弁ばね用鋼線(オイルテンパー線)は、景気減速の影響があるものの、当社の独自技術が高い評価を受けて販売数量・売上金額とも増加しました。一方、OA関連製品、家電・弱電向けのばね用ニッケルめっき鋼線は主要な販売先であるプリンタ市場の成長率鈍化により、販売数量・金額とも若干の減少となりました。また、ステンレス鋼線は、主力の建材関連向けが依然として低迷していることに加えて、ニッケル価格下落に起因する製品価格の下落から需要家の買い控えの影響を受けました。

(ワイヤロ-ブ製品)国内向けにつきましては、総需要量が前年同期に比べて増加するなかで、エレベータ、建設機械、デッキクレーン向けが好調で、また販売価格の是正効果もあって販売数量・売上金額とも増加しました。一方、輸出につきましては、選別受注を行いましたので販売数量・売上金額とも減少しましたが、全体では売上金額は増加しました。

その結果、線材製品関連事業全体の売上高は11,991百万円と前年同期に比べて11.5%の増加となりました。

エンジニアリング関連事業

吊構造用ケーブルにつきましては、橋梁向けおよび建築向けとも増加して売上増となり、落橋防止ケーブルにつきましても順調に売上を伸ばしました。一方、橋梁向け補強ケーブルにつきましては、大型物件が無く前年同期に比べて大幅に減少いたしました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は707百万円と前年同期に比べて14.1%増加となりました。

不動産関連事業

売上高は前年同期並みの33百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、8,575百万円増加の42,735百万円となりました。これは主として新たに加わった連結子会社の資産が増加したことによるものです。

負債は、5,633百万円増加の25,273百万円となりました。これは主として新たに加わった連結子会社の負債が増加したことによるものです。

純資産は、2,941百万円増加の17,461百万円となりました。これは主として新規連結子会社の少数株主持分2,938百万円によるものです。また、自己資本比率は34.0%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気後退感が強まる中、諸資材の価格動向、一部製品での需要家の生産調整等の事業環境の変化を踏まえ、前回公表(平成20年8月27日)いたしました業績予想を修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は平成20年8月27日に株式会社神戸製鋼所が保有する株式会社テザックワイヤロープの株式の一部を追加取得致しました。これに伴い同社は当社の連結子会社(特定子会社)となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定する方法によっております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産については、従来、製品、原材料、貯蔵品は総平均法による原価基準、仕掛品はエンジニアリング部門の一部については個別法による原価基準、その他は総平均法による原価基準によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、製品、原材料、貯蔵品は総平均法による原価基準(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、仕掛品はエンジニアリング部門の一部については個別法による原価基準(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、その他は総平均法による原価基準(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が80百万円それぞれ減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,116	2,518
受取手形及び売掛金	12,074	8,646
製品	3,435	2,343
原材料	1,547	1,467
仕掛品	2,130	1,689
貯蔵品	471	470
繰延税金資産	240	257
その他	836	483
貸倒引当金	3	0
流動資産合計	23,848	17,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,187	3,709
機械装置及び運搬具(純額)	4,649	4,398
工具、器具及び備品(純額)	186	152
土地	5,885	3,243
建設仮勘定	138	31
有形固定資産合計	16,047	11,534
無形固定資産		
無形固定資産	67	58
投資その他の資産		
投資有価証券	488	2,388
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	1,270	1,379
その他	1,047	955
貸倒引当金	36	35
投資その他の資産合計	2,771	4,688
固定資産合計	18,886	16,281
資産合計	42,735	34,159

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,948	3,274
短期借入金	6,082	5,149
未払費用	1,367	1,216
未払法人税等	421	598
賞与引当金	556	435
その他	439	445
流動負債合計	13,816	11,119
固定負債		
長期借入金	7,281	6,400
退職給付引当金	2,382	1,896
役員退職慰労引当金	10	-
環境対策引当金	94	51
繰延税金負債	559	-
負ののれん	311	-
その他	817	172
固定負債合計	11,457	8,520
負債合計	25,273	19,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	1,400	1,145
自己株式	1,338	1,081
株主資本合計	14,479	14,481
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43	37
評価・換算差額等合計	43	37
少数株主持分	2,938	-
純資産合計	17,461	14,519
負債純資産合計	42,735	34,159

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	12,732
売上原価	10,244
売上総利益	2,488
販売費及び一般管理費	1,777
営業利益	711
営業外収益	
受取利息	27
受取配当金	8
持分法による投資利益	102
その他	14
営業外収益合計	153
営業外費用	
支払利息	109
その他	76
営業外費用合計	186
経常利益	678
税金等調整前四半期純利益	678
法人税、住民税及び事業税	136
法人税等調整額	126
法人税等合計	262
少数株主利益	-
四半期純利益	415

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る連結財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(百万円)	
売上高		11,408
売上原価		8,900
売上総利益		2,508
販売費及び一般管理費		
1 運送費	417	
2 給料賃金諸手当	510	
3 その他	740	1,668
営業利益		839
営業外収益		
1 受取利息	25	
2 受取配当金	8	
3 持分法投資利益	174	
4 その他	8	217
営業外費用		
1 支払利息	104	
2 固定資産廃却損	5	
3 たな卸資産処分損	13	
4 出向者負担金	11	
5 その他	50	185
経常利益		871
特別損失		
1 役員退職慰労金	194	194
税金等調整前 中間純利益		677
法人税、住民税 及び事業税	130	
法人税等調整額	73	203
中間純利益		473

(参考)

1. 第2四半期(累計)及び通期業績予想
(連結)

(単位:百万円)

	H20年3月期		H21年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q	通期
売上高	11,408	24,644	12,732	31,730	1,323	7,086
セグメント別内訳						
1. 線材製品関連事業	10,755	22,464	11,991	29,350	1,236	6,886
2. エンジニアリング関連事業	620	2,113	707	2,314	87	201
3. 不動産関連事業	33	66	33	66		
営業利益	839	2,437	711	2,230	128	207
セグメント別内訳						
1. 線材製品関連事業	926	2,369	760	1,979	165	390
2. エンジニアリング関連事業	112	16	75	200	37	184
3. 不動産関連事業	26	52	25	51	0	1
経常利益	871	2,169	678	2,130	193	39
四半期(当期)純利益	473	1,294	415	1,080	58	214
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	8.51	23.56	7.87	20.47	0.64	3.09

(単独)

売上高	9,122	20,241	10,703	23,290	1,580	3,049
営業利益	726	2,131	745	1,890	19	241
経常利益	607	1,498	635	1,620	27	122
四半期(当期)純利益	251	763	389	960	137	197
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	4.50	13.89	7.37	18.19	2.87	4.30

2. 設備投資・減価償却費
(連結)

(単位:百万円)

	H20年3月期		H21年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q	通期
設備投資	300	662	331	1,091	31	317
減価償却費	401	786	388	878	13	92

3. 連結キャッシュフロー
(連結)

(単位:百万円)

	H20年3月期		H21年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q	通期
1. 営業キャッシュフロー	66	493	148	880	214	387
2. 投資キャッシュフロー	248	450	947	1,773	699	1,323
3. 財務キャッシュフロー	3,189	232	1,397	1,008	1,792	776
現金・現金同等物期末残高	5,118	2,518	3,116	2,633	2,001	115

4. 有利子負債・金融収支
(連結)

(単位:百万円)

	H20年3月期		H21年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q	通期
有利子負債残高	13,934	11,549	13,363	13,078	571	1,529
金融収支	69	150	74	165	5	15

5. 研究開発費
(連結)

	H20年3月期		H21年3月期	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想
研究開発費	1.4億円	2.6億円	1.3億円	3.0億円

6. 要員の状況

(単位:人)

	H19年9月末	H20年3月末	H20年9月末	H21年3月末 (予想)
連結	641(+53)	645(+50)	846(+84)	842(+88)
単体	516(+9)	515(+8)	528(+10)	529(+8)

注.()は臨時従業員